

令和6年度 大阪府立交野支援学校四條畷校 第3回 学校運営協議会 報告

1. 日時 場所	令和7年2月17日（月）午前10時00分から12時00分 交野支援学校四條畷校 軽作業室	
2. 出席	【学校協議会委員】	
	高塚 良則	元大阪府立支援学校長
	加藤 美朗	関西福祉科学大学教授
	北口 信二	北河内東障害者就業・生活支援センター長
	杉本 匡子	（社福）るうてるホーム 法人アドミストレイティブマネージャー（欠席）
	中西 庄司郎	四條畷市砂自治会
	佐々木 博康	大阪府立交野支援学校四條畷校 PTA 会長
	【事務局】	
	篠川 一樹	准校長
	長田 登起夫	教頭
	目良 孝	課長補佐
	古田 嘉康	首席
	竹田 良信	首席
	筒井 大輔	中学部主事
	加峰 一智	高等部主事
	傍聴者・・・なし	
3. 次第	（1）准校長あいさつ （2）報告及び議事 ① 令和6年度学校教育自己診断アンケートについて ② 「令和6年度学校経営計画」達成状況について ③ 「令和7年度学校経営計画」について ④ その他	
4. 報告	①令和6年度学校教育自己診断アンケートについて ●実施時期・実施方法について 実施時期は定年通り（11月末配付 締め切りは約3週間後）。質問項目の変更なし。今年より、全アンケートを Google Forms を利用して行なった。保護者へは安全安心メールに URL を付ける形で回答依頼を行った。保護者、生徒実施分では、締め切りまでに回答数が伸びなかったため、あらためて紙媒体で配付し、紙での回答も可とした。また、締め切りも延長し、2学期終業式までとしたが、生徒用、保護者用ともにアンケートの回収率が下がっている。次年度はより多く回答いただけるよう、運用面での改善が必要である。 【生徒用】 「学校が楽しい」と感じる生徒が増えた一方で、否定的に感じる生徒も増加している。「気軽に相談できる」環境を維持・発展させ、悩みを抱える生徒が早期に支援を受けられる体制をさらに充実させることが必要である。 【保護者用】 23項目で学校の取り組みに対して80ptを超える肯定的な評価となった。特に情報発信における項目での肯定的回答の増加率が最も高くなっている。安心メールでの配付プリントの配信を増やしたことや、昨年度からの学校HPへの地域別福祉事業所案内の掲載等の取り組みが影響していると考えられる。一方で、施設・設備の改善と学校行事への保護者参加率の向上が課題として浮上している。 【教員用】 「他の授業を参考にしている」で肯定的回答が10pt以上増えている。授業力向上PTが中心となり、今年度より実施した教員向け授業公開の取り組みが影響したものと考えられる。授業改善の意識が高まり、互いに参考にし合う文化が根付くよう、引き続き取り組みを進めていく。一方で、経営への参画について否定的ポイントが増えており、経営参画や、意見反映についてのプロセスを見直す必要がある。	

②「令和6年度学校経営計画及び学校評価」自己評価（案）について

◇達成及び未達成を抜粋

1 希望する進路を実現できる力の育成

- ・キャリア教育では、就職に関わる面接指導等を含む地域の外部講師による多くの授業を展開し、8割の生徒が達成した。
- ・校外活動では、新規開拓の清掃活動や剪定作業、公民館での木工や農園芸商品（野菜・草花）の販売等を通して、今後もより地域に貢献することができるようにする。
- ・進路先等への定着支援としてアフターケアの充実を図ることが今後の課題である。

2 安心・安全のための校内体制の整備

- ・SNSの指導については、各学年の実情に合わせて卒業後の自立に向けて、必要な事項の指導を実施することができた。
- ・アレルギー対応では、府のガイドラインの変更に対応し、校内アレルギーマニュアルを改定した。

3 教育の専門性の向上と指導力の向上

- ・ICTの活用事例の研修を実施して「知る・考える・表現する・広げる」等の活動において授業実践を充実させることができた。

4 開かれた学校づくりセンター的機能の発揮

- ・北河内ブロックのCOがグループに分かれて巡回相談を実施し、地域の支援教育力を向上させることを継続していく。

5 校務の効率化による働き方改革の推進

- ・授業公開週間を設け教員の校内授業見学を行い、主体的、対話的で深い学びの視点で授業実践を広げ周知することができた。

③「令和7年度学校経営計画及び学校評価」（案）について

「中期的目標」の変更点・継続について

1 キャリア教育の一環として、より日常の中で習慣化するよう中学部の清掃活動の充実を図る。

地域との連携を生かし校外活動の連携拠点、対象を広げる。

キャリアマトリックスの運用と指標を見直し、「かかわる力」「はたらく力」等の系統性を意識した活動の再構築をしていく。

2 災害時の対応について見直しを行い、地域やPTAと協働して安全安心な学校体制の確立をめざす。

3 授業実践や教材等の情報を共有し、専門性、授業力の向上を図る。

【委員からの意見】

○日常生活を維持していく上で必要不可欠な業務である清掃活動を含むエッセンシャルワークについて、キャリア教育の中で幅広く理解共有し、意識の向上を図ってほしい。

○授業の実践例を、他校と情報を共有してアーカイブ化する等で、授業力の向上に努めてほしい。

○アンケートの回収率に関しては、アプリやアクセスの難しさから回収率の低さが課題となっている。Googleフォームの使用頻度を上げるために定期的に簡単なアンケートを送る等の取り組みを検討してアンケートの回収率を上げていく。

○ヒヤリハットの共有とその是正策の共有できるように環境を整えて取り組んでいただきたい。

○校外活動では、新規開拓の清掃活動や剪定作業、公民館での販売等の経験を積み重ねて地域貢献ができている。今後も継続して、より地域に根差した学校になるように取り組んでもらいたい。